（第3種郵便物認可）

ロゴとマスコットを選定

新座 新堀小 50周年で児童から募集

2023年度に開校50周年を迎えた新座市立新堀小学校（新座市新堀1丁目、児童数453人）は、同記念事業の一環で児童から募集した作品から同校のロゴマークとマスコットキャラクターを選出した。同校のPR活動に活用する。欧米などでロゴマークやマスコットキャラクターを指定している学校はあるが、日本では珍しいという。（毛利伸一）

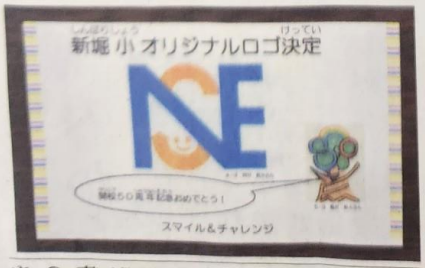
同校は「グローバル人材の育成」をミッションに掲げ、東京都東久留米市のインターナショナルスクールと提携し、児童らの相互留学などに取り組む。若林寿校長は「学校のホームページ（HP）やお便り、外国からのアクセスなどにも活用し、児童らにグローバル化を意識してもらえれば」と効果に期待を寄せている。

ロゴマークに選ばれたのは4年生岡村真緒さん（10）の作品。学校名の英語表記「Niiza-city Shinbori Elementary school」の頭文字「NSE」をモチーフにしている。NとEを重ね、その間にSを表記した斬新なデザインに仕上がっている。

マスコットキャラクターは5年生亀井結仁くん（11）の作品。構内のサクラの木をモチーフに制作されたキャラクター「スマイリーくん」の木の幹の上に、同校の経営方針となっている「スマイル&チャレンジ」の頭文字「S」と「C」を虹でつないで表現している。

同校は23年11月、全校児童を対象に学校のロゴマークのデザインを募集した。学校運営協議会で応募作品20点の中から岡村さんの作品をロゴマーク、「スマイリーくん」のモチーフのサクラが倒木したことから、亀井くんの作品を新たにマスコットキャラクターにすることを決めた。

その後ロゴマークとマスコットキャラクターを描いたカードと着ぐるみを制作。初めて選出結果を発表した1月11日、給食時にカードと同じ図柄のシールを張ったデザートを児童に配布するとともに、着ぐるみを着た教頭らが岡村さんと亀井くんを祝福するサプライズも行った。

この日、選ばれたことを知った岡村さんは「ロゴマークは父親と一緒に考え、文字をつなげるのに苦労した。自分の作品が今後も使用されるのはとてもうれしい」、亀井くんは「スマイリーくんを復活させようと母と妹と考案した。とても良かった」と喜んだ。

●作品が選定された4年生岡村真緒さん（中央左）と5年生亀井結仁くん。左端はマスコットキャラクターの着ぐるみを着た池谷ひろみ教頭、右端は若林寿校長＝新座市立新堀小学校 ▼新座市立新堀小学校が作成したロゴマークとマスコットキャラクターを表記したカード